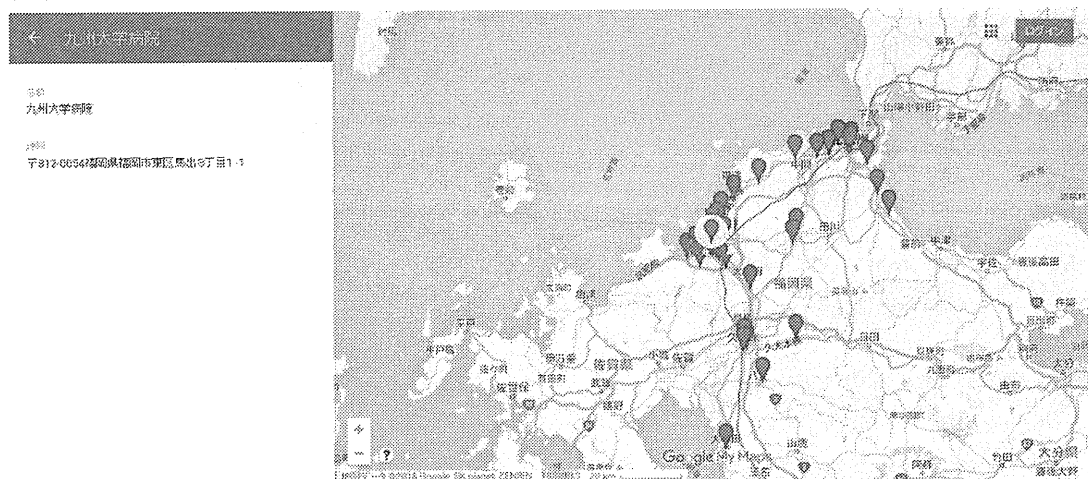


(2) 研究協力施設情報 (地図表示画面、九州大学病院選択時)



7. ソフトウェアダウンロードページ

J-ASPECT Study

ホーム ご挨拶 参加登録 研究成果 CSC score 研究協力施設情報 お問い合わせ先

調査協力施設向けページ

- ソフトウェアダウンロード
- フィードバック

リンク

- 九州大学 脳神経外科
- 日本脳神経外科学会
- 日本脳卒中学会
- 日本脳神経血管内治療学会

退院患者調査協力施設向けソフトウェアダウンロード

平成27年度退院患者調査用のソフトウェアダウンロードは2月10日頃より可能となる予定です。

平成27年度退院患者調査にご協力頂ける場合は、参加登録をお願いいたします。
参加のご登録を頂いた後、ソフトウェアダウンロードページのログイン情報をお送りいたします。

Total: 3,385 Yesterday: 116 Today: 48

Copyright (C) 2015 J-ASPECT Study. All Rights Reserved.

8. フィードバック（施設認証画面）

J-ASPECT Study

ホーム 二葉荘 参加登録 研究成果 CSC score 研究協力施設情報 お問い合わせ先

調査協力施設向けページ

- ソフトウェアダウンロード
- フィードバック

リンク

- 九州大学 脳神経外科
- 日本脳神経外科学会
- 日本脳卒中学会
- 日本脳神経血管内治療学会

施設認証

このページの表示には、ログインが必要になります。IDとパスワードを入力してください。

ID

パスワード

ログイン情報につきましては、近日中に調査協力病院様にご連絡致します。今しばらくお待ちください。

Total: 3,424 Yesterday: 116 Today: 87 Copyright (C) 2015 J-ASPECT Study. All Rights Reserved.

(1) フィードバック (ログイン後画面)

The screenshot shows the 'J-ASPECT Study' website interface. At the top, there is a navigation menu with links for 'ホーム', 'ご挨拶', '参加登録', '研究成果', 'CSC score', '研究協力施設情報', and 'お問い合わせ先'. Below the menu, the page is divided into several sections. On the left, there are two main sections: '調査協力施設向けページ' and 'リンク'. The '調査協力協力施設向けページ' section contains links for 'ソフトウェアダウンロード' and 'フィードバック'. The 'リンク' section lists four affiliated institutions: '九州大学 脳神経外科', '日本脳神経外科学会', '日本脳卒中学会', and '日本脳神経血管内治療学会'. The main content area is titled 'フィードバック' and includes a 'ログアウト' link. Below the title, there is a message: '表示するフィードバックのボタンを押してください。' and two buttons labeled '臨床指標' and 'CSCスコア'. A detailed explanation follows: 'フィードバックは、J-ASPECTの退院患者調査及び施設調査にてご提供頂いた情報を元に作成しております。調査にご参加頂いたにもかかわらずフィードバックが表示されない場合や、フィードバック内容等につきましてご質問等ございましたら、お手数ですがこちらのお問合せ先までメールにてお問い合わせ下さい。' At the bottom of the page, there is a statistics bar showing 'Total: 3,424 Yesterday: 116 Today: 87' and a copyright notice: 'Copyright (C) 2015 J-ASPECT Study, All Rights Reserved.'

(2) フィードバック (CSC スコア表示画面 : 九州大学病院)

J-ASPECT Study

ホーム
ご挨拶
参加登録
研究成果
CSC score
研究協力施設情報
お問い合わせ先

調査協力施設向けページ

- ソフトウェアダウンロード
- フィードバック

リンク

- 九州大学 脳神経外科
- 日本脳神経外科学会
- 日本脳卒中学会
- 日本脳神経血管内治療学会

フィードバック CSCスコア

[ログアウト](#)

[フィードバックトップへ戻る](#)

以下は平成22年度及び平成26年度に実施した診療施設調査に基づく貴院のCSCスコアになります。

要件を満たしている項目にはが表示されます。また、ご回答時にご記入のなかった項目はN/Aと表示されます。

未回答部分についての追加回答をご希望される場合や、CSCスコアについてのご質問がある場合は、[こちらのお問合せ先](#)までメールにてお問い合わせ下さい。

category	Components	調査年度	
		H22	H26
CSCスコア		17/25	24/25
1:人員	脳血管内科医(日本神経学会専門医)		
	脳血管外科医(日本脳神経外科学会専門医)		
	血管内治療医(日本脳神経血管内治療学会専門医)		
	日本救急医学会専門医		
	理学治療専門医およびリハビリ (日本リハビリテーション医学会専門医)		
	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士		
	脳卒中専門看護師		

2:診断機器	CT	●	●
	MRI(拡散画像撮影可能)	●	●
	血管造影検査(DSA)	●	●
	CT血管造影	●	●
	頸動脈エコー	●	●
	経頭蓋ドップラ-超音波法	●	●
3:血管内治療 および手術手技	CEA	●	●
	脳動脈瘤クリッピング	●	●
	頭蓋内血腫除去術・ドレナージ	●	●
	脳動脈瘤コイルング		●
	動脈内再開通療法		●
4:施設	ストロークユニット		●
	ICU	●	●
	常時(24時間週7日)稼働の手術室	●	●
	常時(24時間週7日)稼働のインターベンションサービス		●
	脳卒中登録	●	●
5:教育体制	地域教育	●	●
	医療従事者教育	●	

Total:3,424 Yesterday: 116 Today: 87

Copyright (C) 2015 J-ASPECT Study. All Rights Reserved.

(3) フィードバック（臨床指標グラフ表示画面：九州大学病院）

J-ASPECT Study

ホーム ご挨拶 参加登録 研究成果 C-SC score 研究協力施設情報 お問い合わせ先

調査協力施設向けページ

- ソフトウェアダウンロード
- フィードバック

リンク

- 九州大学 脳神経外科
- 日本脳神経外科学会
- 日本脳卒中学会
- 日本脳神経血管内治療学会

フィードバック 臨床指標

[フィードバックトップへ戻る](#) [ログアウト](#)

・全指標のグラフを一括表示:

・指標と疾患を絞ってグラフ表示:

指標:

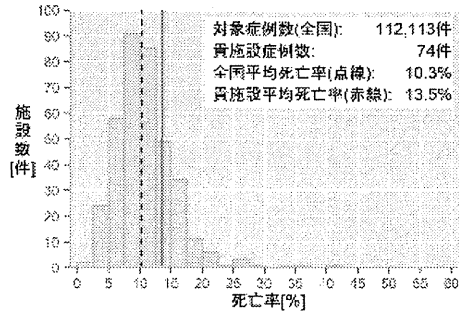
疾患:

臨床指標のグラフ及び数値は、J-ASPECTの退院患者調査にてご提出頂いたDPCデータ又はレセプトデータを元に作成しております。

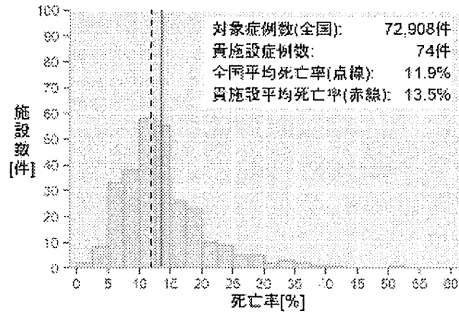
正規のデータをご提出頂けなかった、貴院において対象の症例が1件もなかった等の場合、臨床指標のグラフは表示されません。⇒「本指標が算出できませんでした。」と表示される主な理由について調査対象期間の全データをご提出頂いたにもかかわらず臨床指標のグラフが表示されていない場合や、表示されるグラフ等内容につきましてご質問等ございましたら、お手数ですがこちらのお問合せ先までメールにてお問い合わせ下さい。

Total: 3,424 Yesterday: 116 Today: 87 Copyright (C) 2015 J-ASPECT Study. All Rights Reserved.

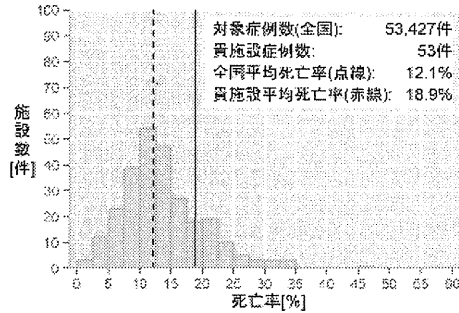
-2012年度データ



-2011年度データ



-2010年度データ



臨床指標のグラフ及び数値は、J-ASPECTの退院患者調査にてご提出頂いたDPCデータ又はレセプトデータを元に作成しております。

正規のデータをご提出頂けなかった、食院において対象の症例が1件もなかった等の場合、臨床指標のグラフは表示されません。⇒[本指標が算出できませんでした。]と表示される主な理由について調査対象期間の全データをご提出頂いたにもかかわらず臨床指標のグラフが表示されていない場合や、表示されるグラフ等内容につきましてご質問等がございましたら、お手数ですがこちらのお問合せ先までメールにてお問い合わせ下さい。

② フィードバック (臨床指標 02 グラフ_入院中 24 時間以内の死亡割合_三疾患合計)

J-ASPECT Study

ホーム
ご挨拶
参加登録
研究成果
CSC score
研究協力施設情報
お問い合わせ先

調査協力施設向けページ

- ソフトウェアダウンロード
- フィードバック

リンク

- 九州大学 脳神経外科
- 日本脳神経外科学会
- 日本脳卒中学会
- 日本脳神経血管内治療学会

フィードバック 臨床指標

[ログアウト](#)

フィードバックトップへ戻る

・全指標のグラフを一括表示: 一括表示

・指標と疾患を絞ってグラフ表示:

指標 入院24時間以内の死亡割合

疾患 三疾患合計(脳梗塞, 非外傷性脳内血腫, くも膜下出血)

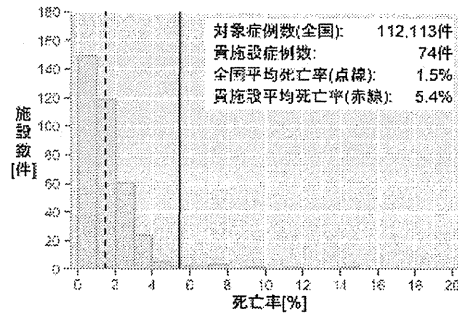
グラフ表示

■ 入院24時間以内の死亡割合_三疾患合計

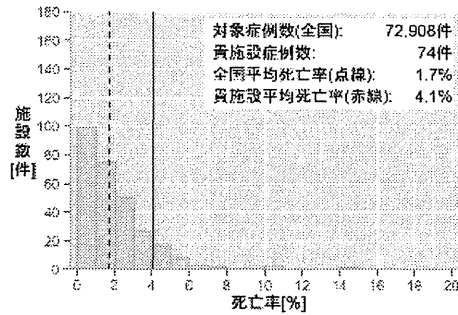
・2013年度データ

対象症例数(全国):	102,866件
実施施設例数:	74件
全国平均死亡率(点線):	1.5%
実施施設平均死亡率(赤線):	2.7%

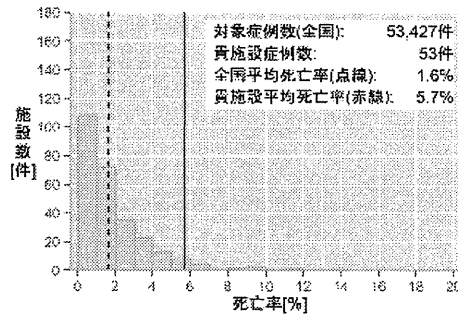
・2012年度データ



・2011年度データ



・2010年度データ



臨床指標のグラフ及び数値は、J-ASPECTの退院患者調査にてご提出頂いたDPCデータ又はレセプトデータを元に作成しております。

正規のデータをご提出頂けなかった、貴院において対象の症例が1件もなかった等の場合、臨床指標のグラフは表示されません。⇒「本指標が算出できませんでした。」と表示される主な理由について調査対象期間の全データをご提出頂いたにもかかわらず臨床指標のグラフが表示されていない場合や、表示されるグラフ等内容につきましてご質問等ございましたら、お手数ですがこちらのお問合せ先までメールにてお問い合わせ下さい。

③ フィードバック（臨床指標 03 グラフ_入院中 7 日以内の死亡割合_三疾患合計）

J-ASPECT Study

ホーム
ご挨拶
参加登録
研究成果
CSC score
研究協力施設名簿
お問い合わせ先

調査協力施設向けページ

- ソフトウェアダウンロード
- フィードバック

リンク

- 九州大学 脳神経外科
- 日本脳神経外科学会
- 日本脳卒中学会
- 日本脳神経血管内治療学会

フィードバック 臨床指標

[ログアウト](#)

フィードバックトップへ戻る

・全指標のグラフを一括表示: 一括表示

・指標と疾患を絞ってグラフ表示:

指標: 入院7日以内の死亡割合 ▼

疾患: 三疾患合計(脳梗塞、非外傷性脳内血腫、(毛膜下出血) ▼

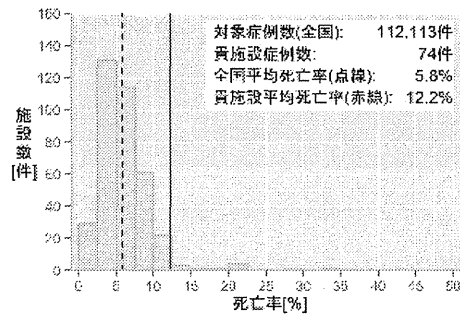
グラフを表示

■ 入院7日以内の死亡割合_三疾患合計

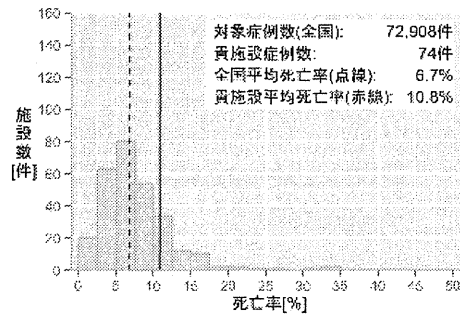
・2013年度データ

対象症例数(全国):	102,866件
貴施設症例数:	74件
全国平均死亡率(点検):	5.9%
貴施設平均死亡率(赤線):	6.8%

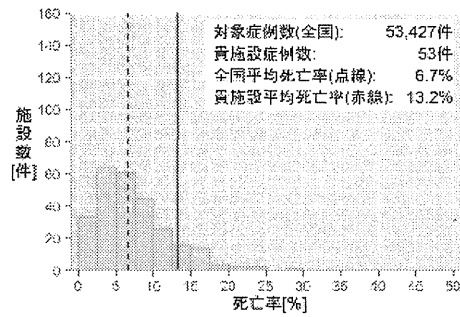
-2012年度データ



-2011年度データ



-2010年度データ



臨床指標のグラフ及び数値は、J-ASPECTの退院患者調査にてご提出頂いたDPCデータ又はレセプトデータを元に作成しております。

正規のデータをご提出頂けなかった、貴院において対象の症例が1件もなかった等の場合、臨床指標のグラフは表示されません。※「本指標が算出できませんでした。」と表示される主な理由について調査対象期間の全データをご提出頂いたにもかかわらず臨床指標のグラフが表示されていない場合や、表示されるグラフ等内容につきましてご質問等ございましたら、お手数ですがこちらのお問合せ先までメールにてお問い合わせ下さい。

④ フィードバック (臨床指標 04 グラフ_入院中 30 日以内の死亡割合_三疾患合計)

J-ASPECT Study

ホーム
ご挨拶
参加登録
研究成果
CSC score
研究協力施設情報
お問い合わせ先

調査協力施設向けページ

- ソフトウェアダウンロード
- フィードバック

リンク

- 九州大学 脳神経外科
- 日本脳神経外科学会
- 日本脳卒中学会
- 日本脳神経血管内治療学会

フィードバック 臨床指標

[ログアウト](#)

[フィードバックトップへ戻る](#)

・全指標のグラフを一括表示:

・指標と疾患を絞ってグラフ表示:

指標:

疾患:

■ 入院7日以内の死亡割合_三疾患合計

・2013年度データ

施設数 [件]

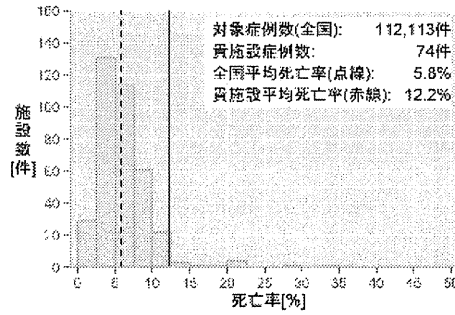
対象症例数(全国): 102,866件

施設症例数: 74件

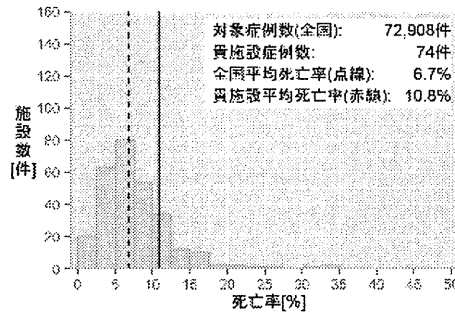
全国平均死亡率(点線): 5.9%

貴施設平均死亡率(赤線): 6.8%

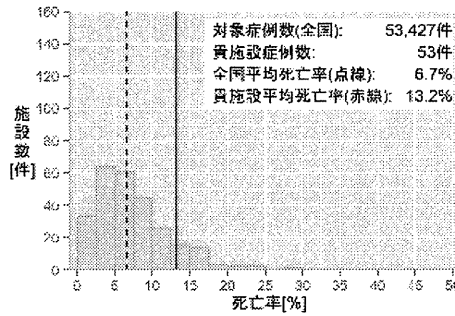
・2012年度データ



・2011年度データ



・2010年度データ



臨床指標のグラフ及び数値は、J-ASPECTの退院患者調査にてご提出頂いたDPCデータ又はセプトデータを元に作成しております。

正規のデータをご提出頂けなかった、食院において対象の症例が1件もなかった等の場合、臨床指標のグラフは表示されません。⇒「本指標が算出できませんでした。」と表示される主な理由について調査対象期間の全データをご提出頂いたにもかかわらず臨床指標のグラフが表示されていない場合や、表示されるグラフ等内容につきましてご質問等ございましたら、お手数ですがこちらのお問合先までメールにてお問い合わせ下さい。

⑤ フィードバック（臨床指標 05 グラフ_外科治療・血管内治療から 30 日以内の死亡割合_三疾患合計）

J-ASPECT Study

ホーム
ご挨拶
参加登録
研究成果
CSC score
研究協力施設情報
お問い合わせ先

調査協力施設向けページ

- ソフトウェアダウンロード
- フィードバック

リンク

- 九州大学 脳神経外科
- 日本脳神経外科学会
- 日本脳卒中学会
- 日本脳神経血管内治療学会

フィードバック 臨床指標

[ログアウト](#)

フィードバックトップへ戻る

・全指標のグラフを一括表示:

・指標と疾患を絞ってグラフ表示:

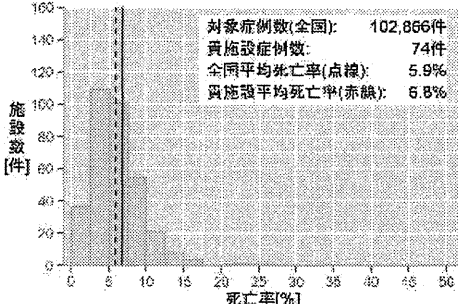
指標 ▼

疾患 ▼

グラフを表示

入院7日以内の死亡割合_三疾患合計

・2013年度データ



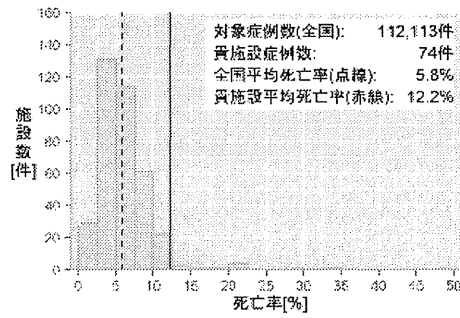
対象症例数(全国): 102,866件

実施施設例数: 74件

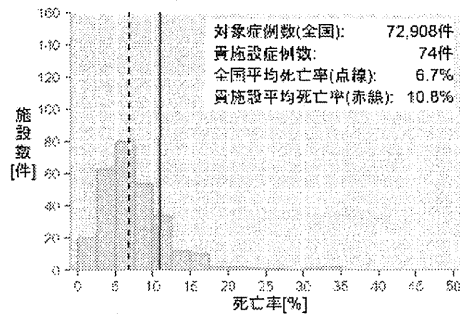
全国平均死亡率(点線): 5.9%

実施施設平均死亡率(赤線): 6.8%

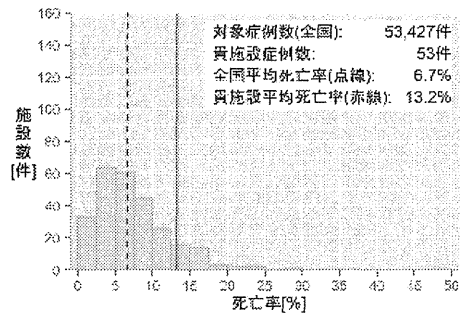
-2012年度データ



-2011年度データ



-2010年度データ



臨床指標のグラフ及び数値は、J-ASPECTの退院患者調査にてご提出頂いたDPCデータ又はレセプトデータを元に作成しております。

正規のデータをご提出頂けなかった、貴院において対象の症例が1件もなかった等の場合、臨床指標のグラフは表示されません。⇒「本指標が算出できませんでした。」と表示される主な理由について調査対象期間の全データをご提出頂いたにもかかわらず臨床指標のグラフが表示されていない場合や、表示されるグラフ等内容につきましてご質問等がございましたら、お手数ですがこちらのお問合せ先までメールにてお問い合わせ下さい。

(資料 7)

平成 26 年度研究成果発表会 (一般向け)
市民公開講座

脳卒中が視える？

～ビッグデータが解決する未来の脳神経外科医療～

(平成 27 年 1 月 18 日 (日) 開催)

開催結果報告書

- 1、発表会開催者
所属・職名 : 九州大学大学院医学研究院脳神経外科教授
氏 名 : 飯 原 弘 二

- 2、開催日時 : 平成 27 年 1 月 18 日 (日) 14 時 00 分～16 時 00 分

- 3、開催場所
名 称 : 九州大学医学部百年講堂
所 在 地 : 福岡県福岡市東区馬出 3-1-1

- 4、参加者数 : 計 66 名 (一般参加者 49 名、演者・運営 17 名)

- 5、発表テーマ : **【脳卒中が視える?～ビッグデータが解決する未来の脳神経外科医療～】**
座長 : 宮地 茂 先生 (大阪医科大学脳神経外科准教授)
<演者 1> 西村 邦宏 先生
(国立循環器病研究センター統計解析室室長)
「脳卒中を視る?医療におけるビッグデータとは?」
<演者 2> 神谷 諭 先生
(東京大学公衆衛生学)
「脳卒中～時間外にも病院を受診できる」
<演者 3> 佐山 徹郎 先生
(九州大学脳神経外科講師)
「ビッグデータが防ぐ、くも膜下出血」
<演者 4> 中川原 譲二 先生
(国立循環器病研究センター
脳卒中統合イメージングセンター部長)
「脳卒中検査最前線～この検査が脳卒中を防ぐ～」

特別講演「官民一体となって取り組む脳卒中対策」
座長 : 塩川 芳昭 先生
(杏林大学脳神経外科教授)
<演者> 西嶋 康浩 先生
(厚生労働省医政局地域医療計画課
救急・周産期医療等対策室長)

6、発表内容

「脳卒中を視る？医療におけるビッグデータとは？」は、この講演の導入として、amazonのビッグデータ活用を例にあげながら、医療におけるビッグデータを具体的に示し、2014年5月にpublishされたEffects of Comprehensive Stroke Care Capabilities on In-Hospital Mortality of Patients with Ischemic and Hemorrhagic Stroke: J-ASPECT Studyについて簡単に説明した。

「脳卒中～時間外にも病院を受診できる」では、日本における病院の時間外受診での医療の質が、時間内受診と変わりなく、時間が勝負であるstroke患者においては、安心していつでも受診できることを、2014年10月にpublishされた‘Consciousness Level and Off - Hour Admission Affect Discharge Outcome of Acute Stroke Patients: A J - ASPECT Study’を基に平易に説明した。

「ビッグデータが防ぐ、くも膜下出血」では、一般市民向けにくも膜下出血の病態と、2014年10月に開催された第73回日本脳神経外科学術総会シンポジウムで発表されたくも膜下出血と未破裂脳動脈瘤の結果をまとめ、紹介した。

「脳卒中検査最前線～この検査が脳卒中を防ぐ～」は当研究の大きなテーマである脳卒中の検査について市民の観点から説明し、検査の意義、必要性を発表した。

「官民一体となって取り組む脳卒中对策」では今後50年の高齢化社会の問題をはじめとして、医療人材確保（特に看護・介護職不足が深刻）、救急体制維持（高齢化が最も影響する分野）、在宅医療推進（8割が自宅外で死亡する半面8割が在宅死を望む）、高齢期特有の課題（脳卒中もそのひとつ）を説明しながら、当研究がそれらを解決する一つの手段となりうることを発表していただいた。

7、発表会の成果

今回の市民公開講座では、ビッグデータと医療という一見わかりにくそうなテーマであったが各演者のご協力もあり、アンケート結果では、91%によかった、大変よかったという評価をいただき、83%でわかりやすかったという評価を得た。今後このような市民公開講座に出席したいかの問いに対しては、98%で出席したいという結果を得たことは、市民に対し我々の行っている研究を理解していただき、今後この研究を推進していくのに大きな助けとなったという点で成果をえたと確信している。